

東部圏域 東国東地域



センター長 初井 眞二



担当窓口 中村 晋也

1. 連絡協議会運用規定

東部圏域東国東広域支援センター連絡協議会 設置規定

(目的)

1. 東国東圏域地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域リハセンター）の事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、圏域内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、広域リハセンター連絡協議会を設置する。

(構成)

2. 会議の構成は以下の通りとする。

地域医師会2名、老人保健施設代表、老人福祉施設代表、理学療法士代表、作業療法士代表、言語聴覚士代表、在宅介護支援センター代表、保健所、町村代表、広域支援センター代表

(会議)

3. 会議の開催は、原則年2回とする。

- (1) 会議には議長及び副議長を置く。議長は広域支援センター統括（国東市民病院長が務め、副議長は広域支援センター運営部長（国東市民病院事務部長）が務める。
- (2) 副議長は、議長を補佐し、事故あるときはその職務を代行する。

(任期)

4. 員の任期は1年とする。但し、再任は妨げない。

附則

この運用規定は平成 年 月 日から施行する。

東国東圏域広域支援センター運営部 運用規定

(目的)

1. 東国東圏域広域支援センター（以下「広域支援センター」とする）の円滑な事業経営を推進し、医療機関・関係団体との連携を図ることを目的とし、国東市民病院に広域支援センター運営部（以下「運営部」とする）を設置する。

(組織)

2. 病院長は、広域支援センターの事業全般を統括・指揮する。事務部長は病院長を補佐し、広域支援センターの円滑な事業経営を図るため、運営部長として企画運営部を管理・運営する。

(企画運営部)

3. 企画運営部は、医師・看護師・リハビリテーション室・医療福祉相談室・事務局から病院長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。

(協力部門)

4. 医局、看護部及び診療協力機関の各部門（リハビリ・医療福祉相談室・給食・薬局等）は事業の円滑な実施が図られるよう、協力部門として積極的な事業協力を行う。

(任期)

5. 企画運営部の職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヶ月前までに病院長、職員双方から何らかの意思表示がないときは、任期を一年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

6. 企画運営部の円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。
 - (1) 運営委員会は、病院長・事務部長・企画運営部の職員で構成され、事務部長を議長とする。
 - (2) 議長は原則として必要に応じて運営委員会を開催し、次の事項を審議する。
 - ・事業計画、事業予算の検討、策定
 - ・事業内容の検討、実施
 - ・研修計画の検討、実施
 - ・関係機関、関係団体との連携・調整
 - ・事業報告、事業決算の検討、策定
 - ・その他、必要な事項
 - (3) 議長は必要に応じて、運営委員会に協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことが出来るものとする。

附則（平成 年 月 日）

この運営規定は、平成 年 月 日から施行する。

2. 事業報告

<地域リハビリテーション実施機関への支援>

ア 地域住民への対応に係る支援

イ 福祉用具、住宅改修等相談への対応に係る支援

年間相談件数：21件

（福祉用具関係 7件・改修関係 6件・摂食嚥下関係 1件

・その他地域住民への対応 7件）

<リハビリテーション施設の共同利用>

共同利用調整件数：15件（勉強会8件・体験学習7件）

<講師派遣>年間技術援助件数：10件

- ① 5月18日：口腔機能について（歯科衛生士）
- ② 7月22日：摂食・嚥下について（言語聴覚士）63名
- ③ 7月27日：国東市転倒予防・職員講習会（理学療法士）
- ④ 8月4日：口腔ケアについて（歯科衛生士）17名
- ⑤ 8月7日：摂食・嚥下について（言語聴覚士）59名
- ⑥ 9月18日：口腔機能について（歯科衛生士）
- ⑦ 10月2日：摂食方法並びに食事形態について（言語聴覚士）
- ⑧ 1月19日：口腔機能について（歯科衛生士）
- ⑨ 3月7日：東国東地域健康づくり推進大会（理学療法士）
- ⑩ 3月16日：多発性筋炎患者相談会（理学療法士）

<研修会>

日 時：平成21年7月28日（火）18：30～

場 所：国東市民病院3階大会議室

内 容：医療・介護におけるエンゼル・メイク

講 師：おふいす ゆとり代表 川口多津子 先生

参加者数：103名

日 時：平成21年8月25日（火）18：30～

場 所：国東市民病院3階大会議室

内 容：職場のメンタルヘルス

講 師：大分大学医学部 精神神経医学講座 教授 寺尾岳 先生

参加者数：63名

日 時：平成22年2月18日（木）18：15～

場 所：国東市民病院3階大会議室

内 容：「かけがえのない今を生きる—いのちの尊さとは、緩和ケアとは—」

講 師：大分県緩和ケア研究会

やまおか在宅クリニック 院長 山岡憲夫 先生

参加者数：107名

<連絡協議会>

開催なし。以下の会議を開催。

※ 4月8日（水） 地域リハビリテーション院内運営会議

※ 6月24日（水） 国東市総合相談支援センター運営協議会合同会議

※ 8月24日（月） 訪問歯科診療会議

- ※ 11月9日(月) 東部保健所圏域介護予防検討会議
- ※ 12月10日(木) 訪問歯科診療会議
- ※ 2月25日(木) 地域歯科保健検討会及び在宅歯科診療検討協議会

3. その他地域リハ関連の活動

- ①転倒予防ボランティア養成研修(全5回コース)8月～12月にて開催
※第1回及び5回に講師派遣

- ②国東市転倒予防教室・追跡地区での健脚度測定における講師派遣(3地区)

- ③国東市介護予防体操「ちよるちよる体操」講習会： 講師派遣

※平成21年12月18日(金) 国見町の介護事業所職員

※平成22年1月14日(木) 安岐・武蔵・国東町の介護事業所職員

- ④平成21年4月16日(木) 糖尿病患者お花見(安岐ダム)
参加者：34名

- ⑤平成21年9月12日(土) 糖尿病患者ウォークラリー(山香農業文化公園)
参加者：当院45名(全体93名)

- ⑥市内ふるさと祭り 健康相談(安岐・武蔵・国東)

4. 次年度へ向けた課題

東国東圏域におけるリハビリ専門職は非常に少なくマンパワー不足の状況であり、関連団体・組織・職種の緊密な連携体制の整備・理解が必要である。

当支援センターは地域連携室を中心に圏域各関係施設・職種との連携体制を進めており、体制を充実させていきたい。

また、市と連携して介護予防事業に取り組んでおり転倒予防教室の開催、介護予防国東オリジナル(ちよるちよる体操)体操を作ってきたが、今後も関係組織・職種と連携を強化し介護予防を充実させていきたい。